

# 広島市ボランティア情報センター NEWS

No.37

2017年3月発行

ふれあいネットワーク

社会福祉法人  
広島市社会福祉協議会

TEL 082-264-6408

FAX 082-264-6416

732-0822

広島市南区松原町5番1号

広島市総合福祉センター内

(BIG FRONT ひろしま6階)

E-mail: voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp

## ボランティア サロン 情報資料室 の紹介

お気軽にボランティアサロンに  
寄ってみてください！

ボランティアサロンは、ボランティアの皆さんが  
ゆっくりと集える場所です。  
自分にできるボランティアを見つけ、活動を楽しみ  
ながら、いろいろな人と出会っていただければと  
思います。



ボランティアサロンの奥には情報資料室があります。

情報資料室では、  
福祉に関する図書、  
DVDなどがあり、  
ゆっくり閲覧で  
きます。  
一部、貸し出  
しも行ってい  
ます。



ボランティアサロン

福祉の様々な最新情報があり、  
チラシやパンフレットなどで情報収集できます！



自動販売機があり、丸テーブルでくつろぐことができます！



ボランティアの相談をお受けします！どうぞお気軽に！

## 個人 ボランティア の集い

毎週金曜日の午後1時30分から個人ボランティアの  
集う会を行っています。  
現在、6～7人が集まって、それぞれの思いややって  
みたいことを話し合い、情報交換をしています。  
一度、のぞいてみてください。新たな活動へ一歩踏み  
出してみませんか？

個人ボランティアの皆さんで会の名前を考えま  
した！

“個人ボランティアの会「ぶりっち」  
～心をつなぐかけはし～”

になりました。

また、広島市には6本の川があり、たくさんの  
橋でつながっていることも理由の1つです。



ぜひお立ち寄りください。



6階です。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度

# ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

## 保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円	
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ			
葬祭費用保険金 (特定感染症)			300万円(限度額)		
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

## 年間保険料 (1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、転載に起因する場合は対象になりません。

## 保険金をお支払いする主な例



## ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者

社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店

株式会社 **福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号新霞ヶ関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK16-16921 2017.2.3作成)

# ほっこりエピソード

平成26年にボランティア活動をしたいとNさんの相談を受けました。

ご主人を亡くされ、気力を失っておられた傷心のNさんでしたが、少しずつ、ボランティア活動をされるようになりました。活動する中で、「何気ない、「ありがとう」の言葉に癒され、元気をもらったよ!」という言葉がNさんからお聞きした時は、自分のことのようにうれしくてなりました。

今では、個人ボランティアの集いで、新しく活動を始めた方や同じようにご主人を亡くされた方に寄り添い、「ボランティアって楽しいよ!」と明るくはじける笑顔で活動をされる姿が輝いています。



個人ボランティアの集いで「お好み焼き」を試作してるNさん



記: ボランティア  
コーディネーター  
すぎの

## 編集後記

ボランティア情報センターニュースをご覧いただきありがとうございます。昨年12月に、駅前の建物へ広島市社協の事務所が移転してから、初の発行となりました。引越も終わり、大分新しい場所にも慣れてきたように思いますが、未だに方向感覚が定まらず迷ってしまいます。

今回のボラセンニュースの1ページ目にも新天地でリニューアルされたボランティアサロンや情報センターの紹介記事を掲載させていただいています。お近くにお越しの際は、ぜひ立ち寄ってくださいね♪

これからも、皆様にお手に取っていただき、関心をもっていただけるような情報の掲載に努めてまいりますので、今後ともよろしくお祈りします!!



記: ボランティア情報センター こうろ